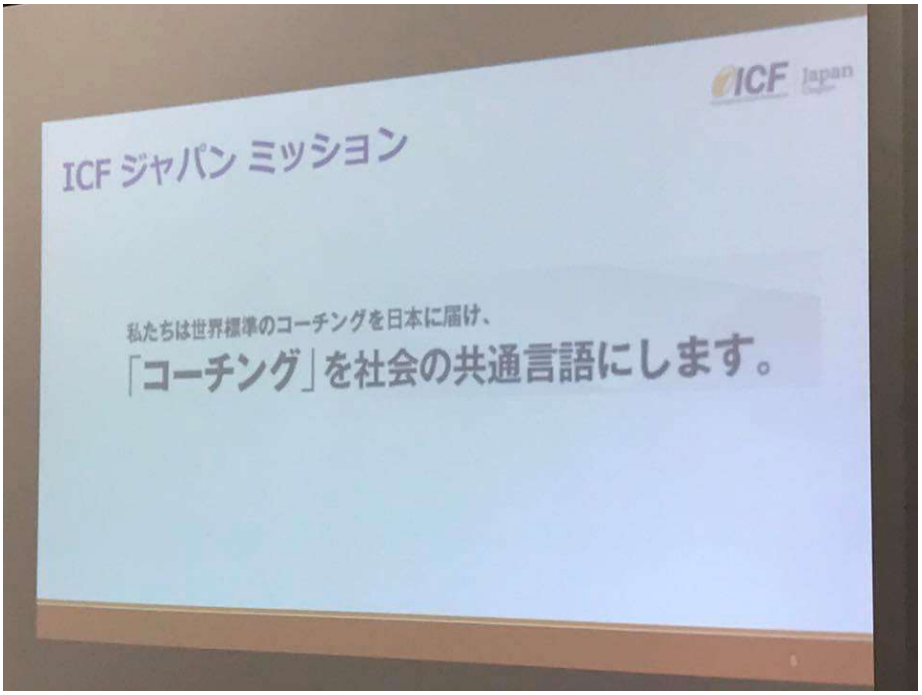
平成 28 年度　第 4 回　総会資料



平成 29 年 9 月 23 日

一般社団法人国際コーチ連盟日本支部

ICF International Coach Federation Japan Charter Chapter

第４回定時総会開催にあたって

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部

代表理事　林 健太郎

会員各位・諸先輩のご協力とご支援のお陰をもちまして、第４期も第３期同様、無事に事業を完了することができました。皆様に心より感謝し御礼申し上げます。

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部（以下 ICF ジャパンと略称します）は国際コーチ連盟の支部として「世界標準のコーチングを日本に届け、コーチングを社会の共通言語にする」ことを目的に、地域におけるコーチングの普及およびコーチの交流と相互支援に関する活動を行っております。今後も ICF ジャパンの活動趣旨に基づき、コーチ及びコーチングを採用する個人・法人、そして日本の社会全体にとって有益となる活動を継続するとともに、業界内外におけるプレゼンスの向上に努めて参ります。

第４期におきましては、任期２年目となる理事が中心となり、第３期からの継続性を持った活動を推進して参りました。具体的な活動につきましては本資料にて項目ごとにご報告申し上げますが、ICF ジャパンの年次イベントとして認知度を年々高めている「コーチング・カンファレンス」の開催、「Coaching in English Group」の継続開催、アメリカ国際コーチ連盟本部主催の「ICF Global Leaders Forum 2017」への継続参加といった施策の継続実施により、会員のメリット向上を図りました。また、中長期的な視点で ICF ジャパンの運営ビジョン、ミッション、戦略的優先事項などを検討する理事合宿の開催など、将来的により大きな貢献ができる団体へと進化するロードマップを策定いたしました。

本理事会にて私を含めた理事が２年間の任期を満了いたします。私事ではございますが、団体創立から２期（４年間）に渡り代表理事の職を勤めさせていただきました。この間にお世話になりました皆様に深くお礼を申し上げます。皆様方のご支援のお陰を持ちまして団体として着実な進化を成し遂げることができました。第５期につきましては、本理事会にて選任される新しい理事に活動をバトンタッチし、ICF ジャパンは新たな一歩を踏み出します。世界のコーチングとのパイプ役としての活動を継続して行っていくと共に、国内におけるコーチング産業の認知度向上のため、これまでにない革新的な活動を目指してまいります。

ICF ジャパンは、皆様もご存知の通りボランティア活動で成り立っております。会員各位に於かれましては、皆様のお持ちのスキル・リソースをご提供願えればと思っております。皆様方の積極的ご参加をお待ちして居ります。

最後に、コーチングの普及発展と皆様方の益々のご活躍を願って、ご挨拶とさせていただきます。

１．　事業報告

1-(1)　日本社会に対する、国際基準のコーチングの普及・啓発事業

1-(1)-1 カンファレンス報告（土野）

テーマ：「コーチのプレゼンスを上げる」
日時： 2017年4月15日（土）13:00 - 18:00
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（国際交流棟第一ミーティングルーム）
参加者数：120名（含スタッフ）

内容：
ビデオ・メッセージ from ICF「会長&CEOよりご挨拶」
オープニングスピーチ
紫藤由美子　副代表「グローバルスタディから見えてくる日本のコーチの未来」
講演（1）㈱フォーサイト代表取締役社長　東田一人コーチ（コーチとしての立場から）
「エグゼクティブコーチとしての在り方」
講演（2）㈱Deep Harmony代表取締役　関京子コーチ（コーチ育成の立場から）
「コーチに必要なプレゼンスとは～延べ2000人以上のコーチ育成経験から得たこと～」
講演（3）らーのろじー㈱代表取締役　本間正人氏（業界全体の立場から）
「日本社会におけるコーチングのプレゼンス」
パネルディスカッション「コーチ・コーチングプレゼンスを上げるには？」
パネリスト
・東田一人氏
・関京子氏
・本間正人氏
司会
・紫藤由美子（国際コーチ連盟日本支部 副理事長）

３回目となるICFジャパン主催のカンファレンスは、企画当初は定員60名規模でしたが、申込受付当初から定員を大幅に上回り、緊急対策会議を重ね定員増員を図りまして、結果的にはスタップ以外に100名を超えるケストを迎えて、大好評に終えることが出来ました。

今回のテーマ「コーチのプレゼンスを上げる」に込めた思いは、コーチングの普及及び発展には、コーチ一人ひとりプレゼンスを立ち留まって考えてみることが大切であるというメッセ―ジです。

各方面の立場からの講演内容は、それぞれの得意な分野で活動しているコーチ達にとって、大きな刺激と気付きを促すことが出来たと確信しております。

4 月 15 日（土）、桜の花が散り注ぐ中、コーチング・カンファレンス in ジャパン 2017 がオリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。
今回は、「コーチのプレゼンスを上げる」という一つのテーマに対し、色々な視点からのお話をしていただきました。

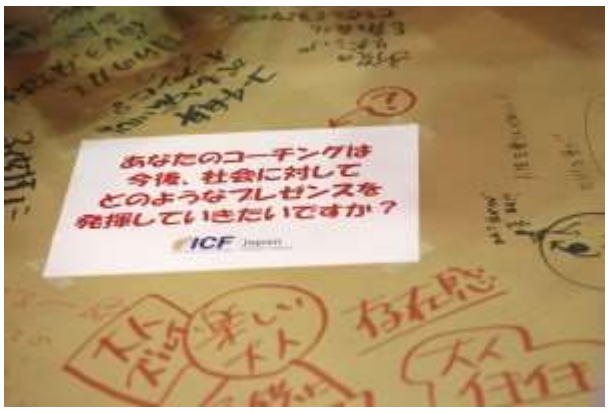
国際コーチ連盟日本支部副代表、紫藤由美子からは、「グローバルスタディから見えてくる日本のコーチの未来」として、世界と日本のコーチングビジネスの現状についてのリサーチの数字を交えながらのお話を。

東田一人氏からは、第一線のエグゼクティブコーチとして、企業の命令でコーチングを受けることになったトップ層たちとの初めてのセッションを引き合いに出しながら、クライアントとコーチそれぞれが自分を守ろうとする「無意識」に注目し、いかにコーチとしてのプレゼンスを上げて行くのかのお話しを。

関京子氏からは、コーチのスーパーバイザーとして長年コーチを育ててきた視点から、クライアントが成果を出せない時、コーチ自身がクライアントに対し「問題がある人を自分が治す」という立ち位置を離れ、むしろ自らの人生の中での問題を振り返ることで起きるブレイクスルーのお話を。

本間正人氏からは、業界全体の立場から日本のコーチングカルチャーの黎明期などを振り返りつつ、前のお二人の話を踏まえながら複数の人間の意識が共鳴することや「存在感」（≠「存在」）についてのお話とワークショップがありました。

また、「クライアントとの関わり方」「コーチングの資質」「社会から見たコーチング」の３つのテーマでゲストの方々のパネルディスカッションと、参加者同士でのディスカッションが交わされました。



会場の機材が古かったため途中機械的なトラブルもありましたが、そこはご愛嬌（？）。早割で会場がいっぱいになってしまう程に参加者の皆様が意欲的だったこともあり、一人ひとりが積極的に参加し、笑い、コミュニケーションを取り合い、終了時には多くの方が学びと笑顔をお土産にされている様子が伺えました。

最後には全員で「私はコーチとしてのプレゼンスを上げるために〇〇〇をする！」という思いを書き出して、桜の花を満開に咲かせました。

本当にすばらしいカンファレンスになりました。スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

コーチのみなさま、コーチに興味をお持ちのみなさまにとって、今回の学びや出会いが多くのものをもたらしますよう国際コーチ連盟はこれからもみなさまを応援していきます！

1-(1)-2 CCE イベントをサイトに記載（牧野内）

ICF ジャパンでは、

⑴ ICF 認定資格取得を目指す方のため

⑵ ICF 本部会員資格を取得する方のため

また、認定資格・ICF 本部会員資格保持者の更新をしやすくしていただくため、それぞれのプロセス要件となる CCE（継続学習）単位の取得できるイベント等の情報を、引き続き法人パートナーの皆様の御協力をいただき、CCE 発行イベントとしてサイトとメールマガジンに掲載し、情報発信させていただいております。

参考）法人パートナー様一覧（2017 年 7 月 31 日現在）

株式会社 Oppochu
合同会社ナンバーツー
ビズナレッジ株式会社
株式会社コーチングバンク
一般社団法人ドリームマップ普及協会
株式会社プロシードワン
一般社団法人コーチングプラットフォーム
コーチ・コントリビューション株式会社
富士ゼロックス総合教育研究所
株式会社マックス・ユア・ビズ
株式会社アニメートエンタープライズ
NPO 法人ヘルスコーチ・ジャパン
株式会社コーチ・アイエヌジー
NPO 法人日本アクションラーニング協会
有限会社ドリームコーチ・ドットコム
株式会社ウエイクアップ
銀座コーチングスクール
株式会社コーポレートウェルネス
株式会社グレディス
一般社団法人　東京コーチング協会
一般社団法人 日本コーチング教育振興協会
合同会社グローバルリンク

1－(2) ICF との情報交換及び、その情報の翻訳事業

1-(2) -1 GLF 報告（荒木）

開催日：2017 年 3 月 23 日～26 日
ICF Japan よりの参加者：理事２名（たにだひでこ、荒木まさえ）

2015 年より ICF 本部は世界中の ICF の各チャプターの代表（Global Board, ICF Chapter & ICF Region）が集い、今後のコーチングや ICF の未来について話し合い、ビジョンを共有しあう「グローバル リーダーズ フォーラム（Global Leaders Forum）」を開催しています。第 3 回目にあたる本年度は、ポーランド、ワルシャワのヒルトンホテルにて４日間に渡って開催されました。

ICF 日本支部からは、たにだひでこと荒木まさえの理事２人が参加し、日本のコーチングの状況をシェアし、世界のコーチングの現状、コーチングおよび ICF と ICF 支部が乗り越えるべき課題等を提示し合い、アイデアを交換しました。

現在、ヨーロッパとアメリカの ICF では地域連携が進んでいます。アジアとオセアニアはアジアパシフィックとして地域連携をし、ICF の活動を広め、会員の皆さまに貢献できるよう努めて参ります。

1-(2)-2 ICF のジョージ・ロジャース氏訪日（稲葉）

ICF のジョージ・ロジャース氏をお招きして日本のコーチングマーケットの現状、課題、想い、などを伝えると共に、世界でのコーチング業界の動きや、各国の抱えている課題などを理事たちで学びました。

私にとって、ここ数年間のコーチングに対するモヤモヤが一気に晴れた貴重な体験でした。

＜コーチがコンサルやティーチをすることもある＞

私は国内のコーチ養成スクールで、コーチは教えてはいけない、コンサルをしてはいけないと教わりました。コーチは、特定分野の専門家でなくても、あらゆる領域でコーチとして活躍できるとも教わりました。私はこの Coaching First 的な考え方にずっと疑問を抱いてきました。コーチングが市民権を得ていない中で、コーチが企業に貢献していく際に、このような考え方が通用するはずがないと思っていたからです。そこで、グローバルでコーチングを先導する ICF の人に、この論理の真偽を直接確認しました。彼の回答は明快でした。ICF として問題視していることは、コーチングと言いながら、コンサルやティーチをすることだ。従って、コンサルティング契約をして、その中でクライアントにコーチングをすることは問題がないし、そのような人が米国でも多いと。私は、この部分の定義はとても大事だと考えています。日本国内では、充分な議論が行われ、正しい理解がされていないと感じました。

＜企業のマネジメントにおけるコーチングの意義＞

この解釈を使えば、企業のマネジメントにおけるコーチングの意義も理解し易くなります。

先ずは、マネジャーの役割が、部下に指示命令をして管理するだけでなく、部下を成長させるコーチでもあるという前提を置いた上で、この議論を進めることが重要です。しかしながら、企業のマネジャーは、コーチである前にマネジャーです。マネジメントには、様々な複雑な局面がありますから、コーチングばかりしているわけにはいきません。マネジャーは、部下の成熟度や仕事の緊急度、重要度などを踏まえて、ある時は教えることも、指示命令すること、叱ることも必要になります。大事なことは、マネジャーとして、コーチングの特性を理解して、使うべき人に、使うべきシーンでコーチングを上手く使い部下を成長させることです。管理型が多くはびこる中で、そのようなコーチ型を上手く使いこなせるマネジャーが増えていくことこそが、企業を強くするためには重要と言えるのではないでしょうか。

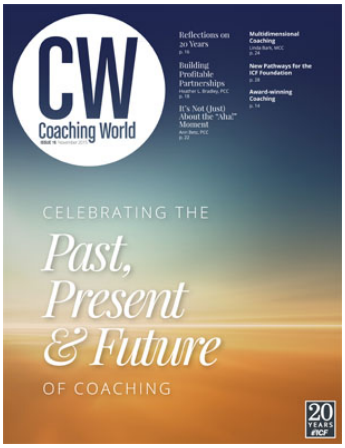
1-(2)-3 コーチングワールドの翻訳（牧野内）

ICF では年に 4 回、コーチングワールド(CW)という情報誌をオンラインと pdf で発行しています。

ICF 日本支部では、ICF 本部の許可と翻訳ボランティア会員の協力を得て、このコーチングワー

ルドの記事をピックアップして日本語に翻訳し、日本の皆様に世界のコーチング状況をお伝えしています。

Issue 16（2015 年 11 月号）



『ウェルネスとコーチ』翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Christopher Paterson
Coaching World, Issue 16, November 2015, p26
Wellness and the Coach

『あなたの本を出版するための５つの秘訣』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Lisa Phillips
Coaching World, Issue 16 November 2015 p8-9 5
Tips to Get Your Book Published

Issue 17（2016 年 2 月号）

『習慣を変えることで、人生を変える：グレッチェン・ルービンの Q&A』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Gretchen Rubin
Coaching World, Issue 17 February 2016 p14-17
Changing Habits to Change Your Life: Q & A with Gretchen Rubin

Issue 18（2016 年 5 月号）

『360 度評価とコーチング：コア・コンピテンシーへの関連付けと活用』
翻訳：荒木まさえ
Originally written in English by Barbara Smith, PCC
Coaching World, Issue 18, May 2016, p28
360-degree Assessment and Coaching:
Connecting and Capitalizing on the Core Competencies

Issue 19（2016 年 8 月号）

『気づきのための S.T.A.R.T. 方程式　～道具箱から～』

翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Silvia Viola, PCC
Coaching World, Issue 19 August 2016 p10-13
S.T.A.R.T. Formula for Awareness

『アウトドアでのウォーキングと会話』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Anna-Marie Watson
Coaching World, Issue 19 August 2016 p16-18
Walking and Talking in the Great Outdoors

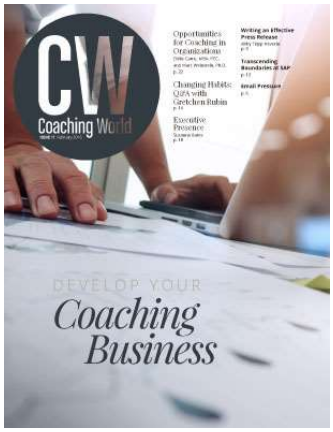
『コーチング空間の難しさ：倫理を超えて』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Jim Smith, PCC
Coaching World, Issue 19 Augst 2016 p14-15
Complexity in the Coaching Space: It’s Far More Than Ethics

『マインドフルネスの時代へ』
翻訳：松川美保
Originally written in English by David Clutterbuck
Coaching World, Issue 19 August 2016 p22-24
Moving Towards Mindfulness

Issue 20（2016 年 11 月号）

『成功のためにソーシャルメディアをシンプルに使う方法』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Lisa Cunningham
Coaching World, Issue 20 November 2016 p8-9
Simplify Your Social Media Strategy for Success

『「自分は何者なのか？」をサポートする：コーチングと学生の成長』
翻訳：牧野内正雪
Originally written in English by Michele Oelking, PCC
Coaching World, Issue 20 November 2016 p31-32
Supporting the “Who:” Coaching and College Student Development



『コーチが投げかける質問を考える　～道具箱から～』
翻訳：松川美保
Originally written in English by Barb Girson
Coaching World, Issue 20 November 2016 p10-11
Oh, the Questions We Ask

Issue 21（2017 年 2 月号）

『効果的な手法“チェックイン”の有用性』
翻訳：松川美保
Originally written in English by Carly Anderson
Coaching World, Issue 21 February 2017 p10-11
The Value of Checking In

『コーチングにおけるパーソナルブランド』
翻訳：牧野内正雪】
Originally written in English by Aenslee Tanner
Coaching World, Issue 21 February 2017 p12-13
It’s Personal

『心のあり方でビジネスを成功に導くプロセス』
翻訳：田中チズ
Originally written in English by Ram S.
Coaching World, Issue 21 February 2017 p16-19
Brings Your Business With Your Heard

『組織内でコーチング文化を築くには』
翻訳：松川美保
Originally written in English by Joshua Ramey-Renk
Coaching World, Issue 21 February 2017 p14-15
Building an Internal Coaching Pilot

コーチングワールド翻訳記事一覧
http://www.icfjapan.com/icfinfo/coachingworld

1-(3) 地域活動支援事業

特に無し

1－(4) セミナー・イベント事業

1-(4)-1 ICF（国際コーチ連盟）認定資格取得説明会（たにだ）

ICF が定める認定資格とはどういうものなのか、またそれぞれの資格（ACC・PCC・MCC）を取得するためにはどのような手続きが必要なのか、具体的にご案内いたしました。

日時：2016 年 9 月 19 日（月）13:00~15:00
会場：文京シビックセンター

また、今期は初の試みとしてプログラム提供団体様へ伺い、出張説明会も行いました。

日時：2016 年 12 月 23 日（金）17:15~19:15
会場：株式会社ウエイクアップ　CTI ジャパン様　会議室

1-(4)-2 倫理規定・コア・コンピテンシー勉強会（たにだ）

昨年の倫理規定の改定が行われ、資格更新の条件に 3 時間の倫理規定の学習時間が必須となりました。ICF ジャパンとして CCEU を発行する倫理規定の勉強会とコア・コンピテンシーを実践的に学習する勉強会を開催しました。

日時：2016 年 11 月 28 日（月）19:00～21:00
会場：文京シビックセンター
テーマ：ICF の定める倫理規定を理解する
プレゼンター：荒木まさえ（PCC）

日時：2017 年 2 月 28 日（火）19:00～21:00
会場：文京シビックセンター
テーマ：コア・コンピテンシー勉強会
プレゼンター：倉田隆弘（ACC）

1-(4)-2 コーチングインイングリッシュグループ報告（野田&荒木）

今期ーCoaching in English Group 開催の目的と実施報告

英語でコーチングを学ぶ勉強会「Coaching in English Group」を年４回開催しています。コーチングを英語で行いたい方はどなたでも参加可能です。

Coaching in English Group の開催目的は以下の通りです。

・ICF のコア・コンピテンシーに準拠したコーチングを英語で学ぶ場の提供
・CCE プロバイダーとして継続コーチ専門教育の単位の発行
・ICF ジャパンのイベントとしての活動

The Coaching in English Group was held in October 2016 and January, May and July 2017. We welcome anyone who wants to use English professionally in their coaching sessions.

The purpose of the Coaching in English Group is as follows:
・Providing a place to study coaching in compliance with the ICF Core Competencies
・Issuing CCE (Continuing Coach Education units) as a CCE provider
・Holding activities as ICF Japan events

Coaching in English Group

October 13, 2016 (Thursday) 2 CCE
Introduction to the Co-Active® Leadership Model: How Your Leadership as a Coach Impacts Clients
Hiroki Hashimoto and Yumi Matsumoto
Learn the Co-Active® Leadership Model through experiential exercises. Discover how your coaching presence and your leadership can intersect to empower your clients.

January 12, 2017 (Thursday) 2 CCE
Discovery! A New Look at Coaching Presence through the Japanese Martial Arts and the ICF Los Angeles Chapter
Masae Araki (PCC)
Explore and embody Coaching Presence using unique approaches from traditional Japanese martial arts. Experience cutting-edge learning coming out of the United States as introduced at the ICF LA Chapter monthly meeting in November 2016.

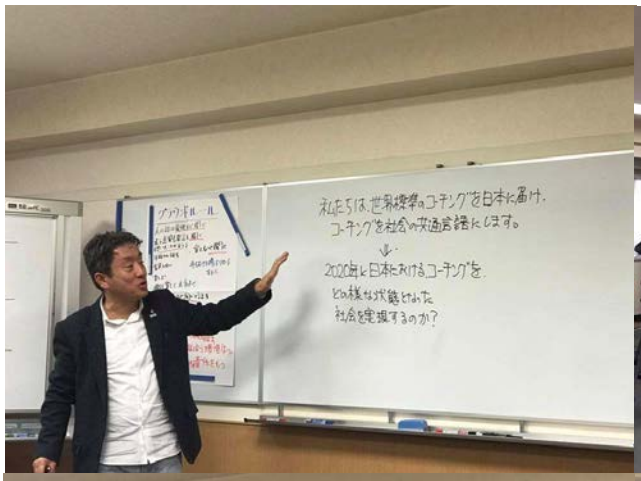
May 25, 2017 (Thursday) 2 CCE

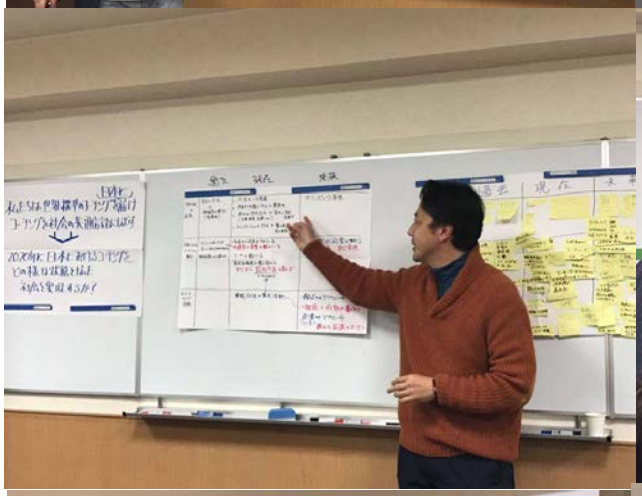
Neuroscience, Trust and Coaching
Annette Karseras and Michael McCoy
Understand how brain basics can be used in practical ways to serve your coaching practice. Become familiar with the Conversational Dashboard from the Conversational Intelligence for Coaches teachings of Judith Glaser.

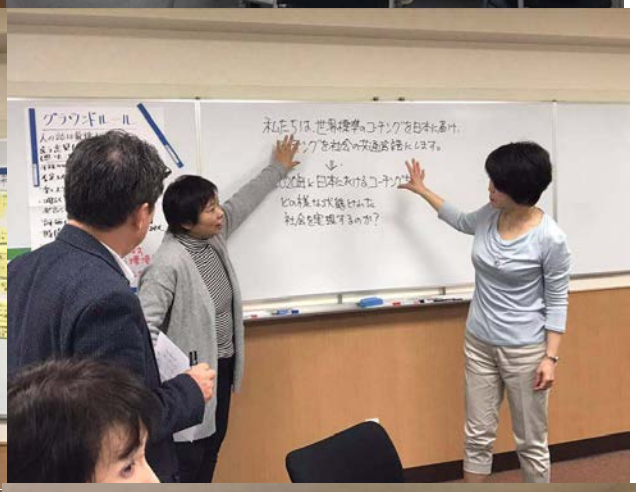
July 13, 2017 (Thursday) 2 CCE
Coaching Ethics in Practice
Benedicte Franchot and Robert Russell (ACC)
Re-familiarize yourself with the ICF Code of Ethics. Exchange views and best practices with other coaches on ethical issues in coaching.

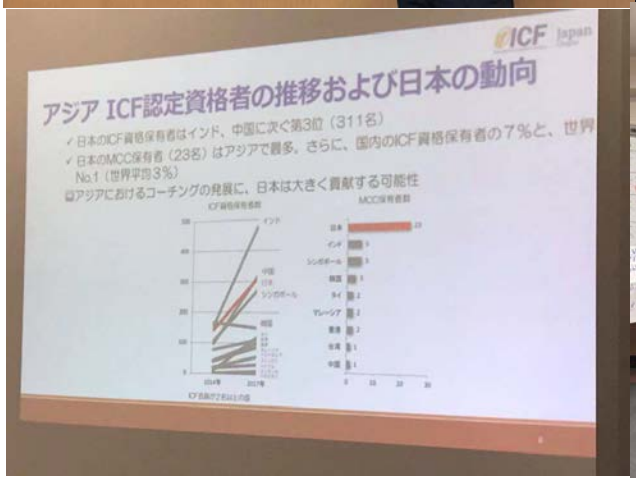
1-(4)-3 ICFJ ビジョン 2020 合宿（荒木）

2017 年 3 月 6 日、ICF ジャパンの理事が集まり 2020 年に向けての構想を練る合宿を行いました。









1-(4) コーチングに関する調査研究事業・コーチ紹介事業

1-(4)-1 ICFJ 正会員＆資格保持者のうち希望者をサイトで紹介（牧野内）

ICFJ では、ICF 資格を保持している ICFJ 正会員の皆様を、御希望いただいた方に限り、サイトで御紹介させていただくことに致しました。

＊御紹介は、ICF（本部）のメンバーページへのリンクという形で提供させていただいています。
＊参考：2017 年 9 月 4 日現在、日本人全体での資格保有者数は、ACC 207 名、PCC 153 名、MCC 31 名となっています。

＊掲載協力会員リスト（敬称略）

MCC 資格保有者 （2 名）

お名前	コーチ情報
樋口富砂子　Fusako Higuchi	》ICF 公式サイト
近藤真樹　Maki Kondo	》ICF 公式サイト

PCC 資格保有者（10 名）

お名前	コーチ情報
たにだひでこ	》ICF 公式サイト
田中智子	》ICF 公式サイト
山田浩史	》ICF 公式サイト
栂村雅美	》ICF 公式サイト
浅井真帆	》ICF 公式サイト
荒木まさえ	》ICF 公式サイト
紫藤由美子	》ICF 公式サイト
大坪タカ（隆志）　TAKASHI OTSUBO	》ICF 公式サイト
藤原只敏 TADATOSHI FUJIWARA	》ICF 公式サイト
矢野紗基　Saki Yano	》ICF 公式サイト

ACC 資格保有者（12 名）

お名前	コーチ情報
高橋美佐	》ICF 公式サイト
松尾英昭	》ICF 公式サイト
轡田芳広	》ICF 公式サイト
遊道直美	》ICF 公式サイト
倉田隆弘	》ICF 公式サイト
関口詩乃	》ICF 公式サイト
辻　剛	》ICF 公式サイト
ビカー・リオネル（BIKART Lionel）	》ICF 公式サイト
山本貴史	》ICF 公式サイト
松川美保	》ICF 公式サイト
山本 篤 Atsushi Yamamoto	》ICF 公式サイト
岩元佳子 Yoshiko Iwamoto	》ICF 公式サイト

1-(4)-2 日韓コーチングシンポジウムでのスピーチ（荒木）

2017 年 4 月 8 日、桜が満開のチェジュ島で、ICF ジャパンの副代表として紫藤由美子が日韓コーチングシンポジウムで ICF ジャパンの現状についてスピーチをしました。

1-(5) 出版及び教材の発行

1-(5)-1 メールマガジンの発行（牧野内）

毎月、会員・パートナー様向けの御案内と、非会員様向けの情報メールを分けて、それぞれ内容を変えて各１回、情報提供を行った。
（以下は会員・パートナー向け内容）

ICFJ 2016 年 8 月 7 日号 ━━

◆ ICF ロシアチャプターから日本支部に訪問がありました
◆ コーチングワールド：
　『ウェルネスとコーチ』
◆ 8 月～9 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ 第 3 回定時総会の開催に関して
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2016 年 9 月 1 日号 ━━

◆ ICF 認定資格取得説明会のお知らせ
◆ コーチングワールド：
　『360 度評価とコーチング：コア・コンピテンシーへの関連付けと活用』
　『あなたの本を出版するための５つの秘訣 』
◆ 9 月～10 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2016 年 10 月 7 日号 ━━━

◆ ICF 認定資格に必要条件変更のお知らせ

◆ 平成 27 年度　定時総会が開催されました
◆ ICF 認定資格取得説明会が開催されました
◆ コーチングワールド：
　『習慣を変えることで、人生を変える：グレッチェン・ルービンの Q&A』
◆ 10 月～11 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2016 年 11 月 9 日号 ━━

◆ ICF ジャパン勉強会「倫理規定（Code of Ethics）」
◆ コーチングワールド：
　『気づきのための S.T.A.R.T. 方程式　～道具箱から～』
◆ 11 月～12 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2016 年 12 月 4 日号 ━━

◆ ボランティア（運営委員）を募集します
◆ ICF 認定資格更新期日は 12 月 31 日までです
◆ ICF ジャパン勉強会「倫理規定（Code of Ethics）」が開催されました
◆ コーチングワールド：
　『アウトドアでのウォーキングと会話』
◆ 12 月～2017 年 1 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 1 月号 ━━

◆ ICF ジャパン代表理事・林健太郎より新年のご挨拶
◆ ICF 資格説明会を開催しました
◆ 【ICFJ 主催】ICFJ Coaching in English Group January Meeting
◆ コーチングワールド：
『マインドフルネスの時代へ』
『コーチング空間の難しさ：倫理を超えて』
◆ 2017 年 1 月～2 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ ICF ジャパン会員資格更新に関して
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 2 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◆ ICF ジャパン勉強会「効果的なコミュニケーション」を開催します
◆ ICFJ Coaching in English Group January Meeting を開催しました
◆ コーチングワールド：
『成功のためにソーシャルメディアをシンプルに使う方法』
◆ 2 月～3 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 3 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――――――

◆ コーチング・カンファレンス 2017 in Japan が開催されます
◆ コーチングワールド：
『「自分は何者なのか？」をサポートする：コーチングと学生の成長』
◆ 3 月～4 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 4 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――――――

◆ コーチング・カンファレンス 2017 in Japan いよいよ開催
◆ Coaching in English Group 日程変更のお知らせ
◆ ICFJ ビジョン 2020
　理事たちが日本のコーチングの未来のためのビジョンを検討
◆ ポーランドで ICF Global Leader's Forum が開催されました
◆ コーチングワールド：
『効果的な手法“チェックイン”の有用性』
◆ 4 月～5 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ 2017 年 ICF 本部会員の更新はお済みですか？
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 5 月号 ━━

◆ コーチング・カンファレンス 2017 in Japan が開催されました
◆ ICFJ Coaching in English Group May Meeting
◆ コーチングワールド：
『コーチングにおけるパーソナルブランド』
◆ 5 月～6 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ 2017 年 ICF 本部会員の更新はお済みですか？
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 6 月号 ━━

◆ ICFJ Coaching in English Group May Meeting が開催されました
◆ コーチングワールド：
『コーチが投げかける質問を考える　～道具箱から～』
『心のあり方でビジネスを成功に導くプロセス』
◆ 6 月～7 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します

◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2017 年 7 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――――

◆ 国際コーチ連盟日本支部第 3 回定時総会の日程が 9 月 23 日に決定しました
◆ ICFJ Coaching in English Group July Meeting を開催します
◆ コーチングワールド：
『組織内でコーチング文化を築くには』
◆ 7 月～8 月の CCE 発行イベントのお知らせ

---------事務局からのお知らせ---------
◇ 会員資格更新時期（2017 年 7 月 31 日）のお知らせです
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

1-(6)-2 サイトの更新（牧野内）

・過去にいただいたお問い合わせを元に FAQ を作成し、サイトにアップした。
・法人パートナーである CCEU 発行団体のイベント情報、正会員の ICF 資格保持者情報をアップした。
・ICF 本部からの情報、イベント情報、コーチングワールドの翻訳などを適宜、掲載した。

1-(6)-3 Facebook での発信

各理事、運営委員、正会員、パートナーが行った ICF に関連する活動について、また、ICF 本部の Facebook ページからの情報について積極的に共有（シェア）を行い、アクセスと共感（いいね）を多数、獲得した。今後も、公開されている投稿について、積極的に情報共有を図っていく。

1-(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1-(6)-1 リサーチ＆マネジメントチームの活動（稲葉）

リサーチ＆マネジメントチームは、主に、ICFJ の団体経営に関する理事内の意思のベクトルを合わせて、来期体制検討への伏線とする活動を企画運営した。

１．経営会議体の企画運営（毎月）

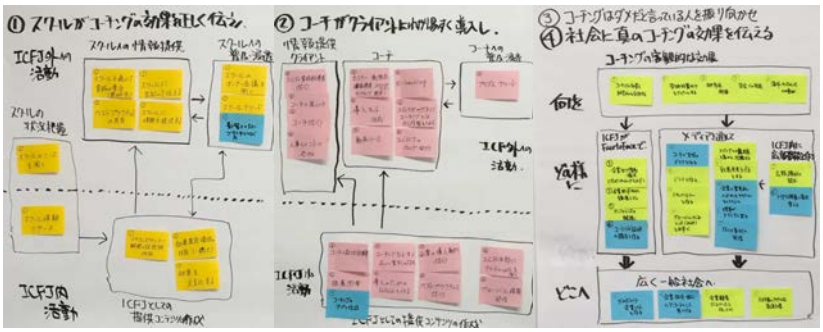
チームリーダー（士野／谷田／稲葉／紫藤）によるリーダー会を設置し、月例会議を企画運営。重要課題をリーダー会で抽出検討し、理事会にて提案し、全理事で審議することで、理事メンバー全員の参画意欲を損なうことなく、意思決定の効率化を図った。

２．ICF 本部スタッフとのコミュニケーションミーティングの企画運営（1 月 21 日）

ICF 本部よりジョージ・ロジャース氏が来日。ICFJ 理事との情報交換を実施するコミュニケーションミーティングを企画運営した。グローバルにおけるアジアパシフィックでのコーチングの進捗状況と、日本国内の動向に関するプレゼンテーション資料を作成し、意見交換を行った。日本国内での活動が、アジア諸国でのコーチングの普及へのベンチマークとして有効であるとの評価を得た。

３．ICFJ2020 ビジョン検討合宿の企画実行（３月５日～６日・晴海グランドホテル）

理事全員（14 名）で、2020 年に向けた ICF ジャパンの目指す国内におけるコーチングの普及へのビジョン検討合宿を企画運営。理事内での活動への意思のベクトルが統合され、来年度体制検討へ繋げた。



1-(6)-２ 理事改選プロセスの決定（理事会議事録より）

１．理事候補者の選任方法に関して

今期を以て役員（理事・監事）が定期社員総会の終結と同時に任期満了により退任予定となるため、次期役員のあるべき姿について、兼ねてよりその任を与えられ、他理事へのヒヤリング、他団体の傾向、他チャプターの動向を検討したメンバーより、その検討結果の報告があった。

・理事の業務内容の最も重要な仕事は意思決定であり、この精度と速度を上げていく体制にすべきである。
・理事の数については、少なくとも来期からの２期については、現在の組織が行うべき現実に意思決定の範囲を検討し、代表、組織運営担当、渉外担当、本部資格担当、本部情報連携担当の５名体制が妥当である。
・不足する運営についての人的資源については、運営委員の任期を理事の任期と近づけ、理事就任時に募集をかけるべく準備する。また、運営については、より運営委員に権限を移譲する体制を構築する。
・理事候補者の選出にあたっては、様々に複雑な組織の状況があり、事前に知っておかなければ意思決定業務に差し支える事柄が多いと考えられるとともに、また、本部も含めて世界的な状況の変化が激しい現状を鑑み、直前期に２期以上運営委員を務めた人物もしくは現理事の中から選出されることとする。
・世界標準のコーチングを日本に届ける、というミッションを果たす団体の意思決定者としてのコミットメントのために、理事候補者は国際コーチ連盟（ＩＣＦ）の資格保持者に限定するという条件を定める。

以上の検討結果の報告を受けた協議の結果、議長より、理事の数並びに理事候補者への立候補可能者の確定・理事候補者の選出の方法ついての提案がなされ、理事会がこれを決定した。

【理事候補者の数】　５名とする

【理事候補者立候補の条件】

理事候補者への立候補可能者の条件は下記の通りであり、これらすべてを満たす必要がある。
・国際コーチ連盟日本支部（ＩＣＦＪ）の正会員であること。
・直近２期以上国際コーチ連盟日本支部（ＩＣＦＪ）での運営委員活動している者ないしは、現理事であること
・国際コーチ連盟（ＩＣＦ）資格保持者とする。

【理事候補者　選出の方法】
・代表理事は次期定時社員総会において任期が満了となる事業年度の終了後に、上記条件にあてはまる理事並びに運営委員に対し、立候補の意思を確認する。
・期限を定め、立候補の意思を確認した理事及び運営委員中から、次に開催される理事会内で、選挙管理人２名を選出し、この２名および事務局職員１名の監視のもと、互選により候

補者を決定する。ただし、立候補者本人は選挙管理人にはなれない。

・具体的には、理事候補者５名を議長指名の選挙管理人２名および事務局職員１名のもとに、選好投票（自書数字式）を行う。

・定款に則り、理事会の合意により選出された次期理事候補者は次期定時社員総会にて正式に選任され、現理事は定時社員総会終結時に退任する。

２．選挙管理人選定に関して

議長から、選挙管理人を大森 隆氏 倉田隆弘氏の 2 名とする、との提案がなされ、理事会がこれを承認した。

２．理事候補者の選出に関して

選挙管理人２名および事務局職員１名の立ち合いのもと、立候補の意思を確認した現理事及び運営委員中から選好投票（自書数字式）を行い、次期理事候補者を下記の５名と決定した。

紫藤由美子（現副理事長、正会員、PCC）
田中智子（現副理事長、正会員、PCC）
稲葉直彦（現理事、正会員、ACC）
荒木まさえ（現理事、正会員、PCC）
大坪タカ（隆志）（現運営委員、正会員、PCC）

なお、次期監事として、現代表理事の林健太郎氏に依頼することも、合わせて合意された。

２．事業計画

2-(1) 2018 年度 重点実施項目

ICF ジャパンは、日本国内随一のプロコーチ（＝プロフェッショナルコーチ）支援団体として、国内のプロコーチ及びコーチ養成スクールの支援活動の基盤固めを行う。この活動を通して、日本のコーチ業界がグローバルでのプロコーチのプレゼンス向上に貢献するための礎を築く。

2018 年度強化ポイント
・国内のプロコーチのレベルアップに向けた支援活動
・組織へのコーチングカルチャーの普及に向けた啓発活動

単位：千円

	重点実施項目	概要	時期	概算予算		主担当
				収入	支出	
1	コーチングの認知向上に向けた公共活動の実施	ICFがグローバルで展開するコーチングウィークにおいて、プロボノコーチングを実施（大学など）	2018年5月	－	200	紫藤
2	プロコーチのレベルアップに向けたアセスメントサービスの開発と提供	一橋大学大学院（ICS）との提携によるコーチスキルズインベントリーサービスを開発し、プロコーチ向けに提供する	2018年5月	400	－	稲葉
3	国内企業へのコーチングカルチャーの啓発活動の実施	ICFリサーチ資料を日本語化し、国内で情報展開できるようにする。更に、国内企業におけるコーチングカルチャーの普及モデル作りを開始する	2018年1月	－	－	田中
4	コーチ照会サービスの充実	ICFJ公式サイト内での、ICF会員コーチや法人パートナーのプロフィール紹介ページを充実させる	2018年4月	－	300	荒木
6	ICFリサーチ資料の日本語化と国内コーチへの情報提供	ICF本部に日本語化の許可を得て、翻訳したコンテンツを商品化して国内のコーチ向けに販売する	2018年4月	250	300	田中
7	ICFJアンバサダー制度導入	ICFJの活動主旨に賛同し、その普及啓発を図る人財の発掘と育成のスキーム作りと展開を行う	2018年4月	800	200	大坪
8	ICF会員への情報提供	メルマガの作成及び発信	毎月	－	150	稲葉
9	コーチングに関するグローバル情報の収集	グローバルリーダーズフォーラム（GLF）への参加	2018年6月	－	400	紫藤
10	各種広報活動の実施	コーチングイングリッシュ開催（10月、2月、5月） 資格説明会開催（10月、12月、2月、4月、6月） ICFJ勉強会開催（１１月、1月、3月、5月、7月）	左記参照	620	130	荒木
11	その他活動の実施	理事による戦略検討合宿の実施	2017年12月	－	250	稲葉
		パートナーの活動への支援	2018年6月			

３．会計報告・予算案

3-(1) 平成 28 年度会計報告

平成28年度　貸借対照表

平成29年 7月31日　現在

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部　（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現　　金	27,540		
普　通　預　金	1,736,481		
未　収　入　金	30,000		
流動資産合計		1,794,021	
資　産　合　計			1,794,021
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
預　　り　　金	－		
未 払 法 人 税 等	70,000		
流動負債合計		70,000	
負　債　合　計			70,000
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産		0	
2　一般正味財産		1,724,021	
正味財産合計			1,724,021
負債及び正味財産合計			1,794,021

平成28年度　収支計算書

自　　平成28年 8月1日
至　　平成29年 7月31日

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部　　（単位：円）

科　　目	（非収益部門）	（収益部門）	（合　計）
（資金収支の部）			
Ⅰ　経常収入の部			
1　会費収入			
正会員会費収入	344,000	－	
準会員会費収入	250,000	－	
賛助会費収入	568,000	－	
2　運用財産収入			
預金利息収入	10	－	
3　協賛金収入			
ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ協賛金収入	－	590,000	
4　その他収入			
イベント収入	－	694,500	
支援金収入	782,550		
経常収入合計	1,944,560	1,284,500	3,229,060
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
業務委託費	－	18,956	
会場費	－	124,096	
イベント経費	－	366,925	
支払手数料	－	31,147	
事業費合計	－	541,124	541,124
2　管理費			
業務委託費	823,896	544,248	
賃借料	156,090	103,110	
事務用品消耗品費	5,602	3,700	
会議費	57,696	38,112	
旅費交通費	251,553	166,170	
通信費	900	595	
支払手数料	20,913	13,815	
諸会費	42,056	27,781	
修繕費	8,032	5,306	
法人都民税		70,000	
経常支出合計	1,366,738	972,837	2,339,575
経常収支差額	577,822	−229,461	348,361
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　その他資金収入			
	0	0	
その他資金収入合計	0	0	0
Ⅳ　その他資金支出の部			
1　その他資金支出			
	0	0	
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			348,361
前期繰越収支差額			1,327,719
次期繰越収支差額			1,676,080
（正味財産増減の部）			
Ⅴ　正味財産増加の部			
1　資産増加額			
当期収支差額(再計)		348,361	
資産増加額合計			348,361
2　負債減少額			
未払法人税減少額		70,000	
短期借入金減少額			
負債減少額合計			70,000
増加額合計			418,361
Ⅵ　正味財産減少の部			
1　資産減少額			
		0	
資産減少額合計		0	0
2　負債増加額			
預り金増加額			
未払法人税増加額		70,000	
負債増加額合計			70,000
減少額合計			70,000
当期正味財産増加額			348,361
前期繰越正味財産			1,375,660
期末正味財産合計			1,724,021

計算書類に対する注記

1. 管理費に関しては、非収益部門と収益部門それぞれ収入の比で按分しております。
（法人都民税を除く）

2. 消費税等の会計処理は税込方式によっております。

注：2017 年 7 月末現在、正会員 89 名、個人パートナー48 名、法人パートナー21 社

3-(2) 監査報告書

監査報告書

平成 29 年 9 月 20 日

一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部
代表理事　林　健太郎　殿

監事　小茂田　亮次　印

私は、一　社団法人国際コーチ連盟日本支部の平成２８年８月１日から平成２９年７月３１日までの第４期事業年度の業務について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

１．監査の方法の概要

監事は、一般に定められた監査手続きに従い、事務局から事業の報告を徴収し、業務および財産の状況を調査しました。

また、決算報告書および事業報告書につき検討を加えました。

２．監査の結果

（1）決算報告書は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。

（2）事業報告書は、一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。

（3）理事の職務遂行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以　上

3-(3) 平成 28 年度予算案

平成 29 年度予算案

（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

収益	受取会費	1,600,000
	受取イベント費	1,420,000
	教材等売上	650,000
	受取寄付金	100,000
	本部補助金収入	800,000
	収益計	**4,470,000**

事業費	業務委託費	100,000
	会場費	40,000
	イベント経費	600,000
	小計	740,000
管理費	業務委託費	2,000,000
	賃借料	260,000
	事務用消耗品	50,000
	会議費	150,000
	旅費交通費	800,000
	通信費	50,000
	支払法人税	70,000
	支払手数料	100,000
	諸会費	100,000
	雑費	30,000
	小計	3,610,000
	経費計	**4,350,000**

正味財産期末残高	**120,000**

４.決議事項

4-(1) 事業計画ならびに予算の承認

⇒2-(1) 並びに 3-(3)参照

4-(2) 理事・監事の選任

⇒1-(6)-２参照